

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ミミナグサ		
○保護者評価実施期間	2026年 4月 20日		～ 2026年 5月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 4月 20日		～ 2026年 5月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高い顧客満足度と適切な支援の環境づくり 保護者アンケートにおいて「こどもは通所を楽しみにしているか」「満足しているか」等の項目で高い評価を得ている。	外活動を多く取り入れ、開放的な時間を多く設けている。 こどもの活動に合わせ、勉強などの時は部屋を分けて行うなど、個別の特性に配慮した環境づくりを行っている。	こどもたちが引き続き「ミミナグサに行きたい」と思えるよう、日々の活動や環境の工夫を継続する。 外活動や個別の活動プログラムの質をさらに高めていく。
2	職員間の密な連携と日々の振り返り 適切な支援を提供するための体制が整っている。	毎日30分前後の会議を行い、職員間で意見を共有し業務改善につなげている。 終了時間がバラバラな場合でも、翌日の支援開始前に前日の振り返りと当日の打ち合わせを徹底している。	こどもたちが引き続き「ミミナグサに行きたい」と思えるよう、日々の活動や環境の工夫を継続する。 外活動や個別の活動プログラムの質をさらに高めていく。
3	保護者への個別かつ丁寧な日々の報告 日頃の様子を個別に発信できている。	SNS等での全体発信だけでなく、LINEを活用して個別にこどもの活動写真を送信し、日々の様子を丁寧に伝えている。	今後も日々のミーティングを継続し、こども一人ひとりの些細な変化や課題をチーム全体で共有・対応できる体制を維持する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や他機関との連携の可視化 放課後児童クラブや地域のこどもとの交流について、保護者から「わからない」という回答が多く見られた。	市のイベントなどに参加し地域との交流は図っているものの、その取り組み内容が保護者に十分に周知・伝達されていない。	イベント参加時の様子などを、LINEや定期的なお便り等を通じて保護者に発信し、地域社会との関わりを可視化していく。
2	家族支援プログラムや保護者間交流の機会不足 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や、保護者会などの開催が不十分である。	個別の相談(年2回の相談会など)には対応しているが、保護者同士が交流できる場や、体系的な家族向け研修・イベントを企画・実施できていない。	保護者が気軽に参加でき、情報交換ができるような「保護者会」や「茶話会」などのイベントの開催を検討・計画する。
3	非常時等のマニュアルや訓練の保護者への周知 事故防止や非常時対応マニュアルの周知、訓練の実施状況について、保護者から「わからない」という回答が散見された。	事業所内ではマニュアルを整備し訓練も実施しているが、保護者に対して訓練の様子や緊急時の対応方針を定期的に説明・報告する機会が不足している。	実施した避難訓練や防犯訓練の様子を、写真等を用いて保護者へ都度報告する。 緊急時対応マニュアルの重要ポイントをまとめた資料を配布するなど、定期的な周知を徹底する。